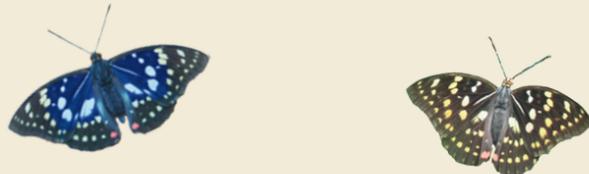


クローズアップ

あなたも「国蝶」を育ててみませんか？

オオムラサキの

飼育事業・飼育体験を行っています



市では、清瀬市の財産である「みどり」を次世代に引き継ぐため、市有林の萌芽更新（古い樹木を伐採し、残された根株の休眠芽の生育を期待して森林の再生を図る）を行っています。雑木林の若返り・更新を図り、将来的に国蝶「オオムラサキ」が舞うような雑木林の再生を目指しています。

平成24年度より萌芽更新と並行して、オオムラサキの飼育事業を開始していますが、平成26年度には多くの卵が孵化したため、飼育希望者を募集し、飼育体験を実施しました。今回は、飼育体験者のインタビューとともに、オオムラサキの飼育事業についてご紹介します。

問合せ 水と緑の環境課緑と公園係 ☎ 497・2098

大ケージを設置して行っている オオムラサキの飼育事業

平成24年度に、日の出町の谷戸沢処分場から幼虫を提供していただいて開始されたオオムラサキの飼育事業。平成25年度からは同じような取り組みをしている荒川自然公園から幼虫の譲渡や飼育の指導を受けるとともに、台田の柱に設置した大きなケージ（高さ8m・幅5m・奥行き10m）で飼育を行っています。平成26年度には、このなかで千匹を超えるオオムラサキの幼虫が生まれました。



台田の柱に設置されているケージ

成虫が飛び回る6月と7月にはケージ内を一般開放し、多くの市民の方々に、清瀬で生まれたオオムラサキを実際に見ていただいています。



課外授業の一環でケージ内を見学した幼稚園児たち

オオムラサキとは



オス



メス

日本の「国蝶」に指定されている、大型の蝶。北海道から九州まで広く分布し、かつては東京の雑木林でも見られましたが、現在は雑木林の減少などによって激減しています。環境省により準絶滅危惧種に指定されており、自然環境を測定する目安になる指標昆虫の一つとされています。

オオムラサキの飼育体験を実施

平成26年度には、オオムラサキの生態についてもっと広く市民の方に理解していただくために、希望者を対象にした飼育体験を実施しました。

飼育体験者には、市から「オオムラサキの幼虫10～15匹」「餌となるエノキの苗木1本」「飼育リーフレット」が提供され、幼虫から成虫になるまで（おおむね10月から翌年の6月）の長い飼育体験にチャレンジしていただきました。



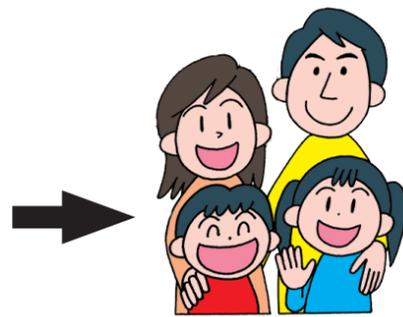
飼育リーフレット



幼虫10～15匹



エノキの苗木1本



飼育体験者

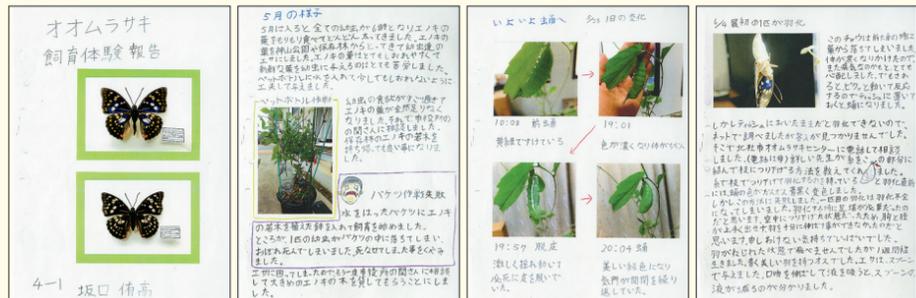
坂口侑高さんの飼育報告書が「夏休み昆虫研究大賞」・「私の体験・主張発表会」で入賞

飼育体験者の1人である坂口侑高さん（十小4年）がまとめたオオムラサキ飼育体験の報告書が、日本昆虫協会主催の「夏休み昆虫研究大賞」で佳作に、清瀬市健全育成委員会主催の「私の体験・主張発表会」で入賞作品に選ばれました。

一家でオオムラサキの飼育に挑戦して下さった坂口侑高さんに、オオムラサキの飼育体験を終えての感想をお伺いしました。



将来は昆虫学者になりたいという坂口侑高さん



侑高さんがまとめた報告書の一部。成長の様子だけでなく、育て方の工夫や、失敗してしまった時の気持ちなども細かく記載している。

—飼育体験をやってみようと思ったきっかけを教えてください。

母が市報に掲載してある記事を見つけてくれたことがきっかけです。以前からいろいろな昆虫を飼っていましたが、オオムラサキは身近にいないので、ぜひやってみたくて家族で話し合っただけで決めました。

—飼育で苦労した点はありますか？

幼虫の餌となるエノキの確保です。市からもらったエノキはすぐに食べつくされてしまったので、たくさんエノキが必要になりました。

—飼育をしていて、一番うれしかったことはなんですか？

成虫になった時です。また、幼虫がサナギになる時も感動しました。家族そろってその瞬間をビデオで撮影したほどです。

—飼育体験を通して、どのようなことを学びましたか？

雨に打たれた幼虫が病気になる、死んでしまったことがありました。自然界でも、すべての幼虫が成虫になるわけではなく、このようなことを乗り越えていかなくてはならないのだと感じました。



母の聡子さん・妹の美鈴さんと標本を眺める侑高さん（写真右）。飼育したオオムラサキも並べられた。（写真左）

飼育報告書を提出していただきました



その他の飼育体験者の皆さんからも、飼育報告書を提出していただきました。皆さんそれぞれ工夫をして、デリケートなオオムラサキを見事に成虫まで育てたとのこと。この報告書は、次回以降のオオムラサキ飼育体験などに活用させていただきます。

今年もオオムラサキの飼育体験希望者を募集します

対象 市内在住で生物に興味があり、最後まで飼育をすることができる方で、清瀬市の事業に協力でき、飼育結果の報告書作成が可能の方。
定員 15人（応募者多数の場合抽選。結果は12月下旬に郵送）
※個人・団体は問いません。
申込み・問合せ 12月1日から水と緑の環境課で配布する所定の申込用紙に必要事項を記入し、12月15日（必着）までに郵送またはファクスで水と緑の環境課緑と公園係 ☎ 497・2098 ☎ 492・2415 へ